

未来へ

君がこの日記を読む頃、

日本はどんな国になっているのでしょうか？

九段の桜は今も春を飾っていますか？

美しい五十鈴川の流れは、

今も続いていますか？

七十四年後の未来では、

判らないかもしれませんが、

今僕達は祖国を護る為、

命を懸けます。

もしいつか本当の事が知りたくなったら、

僕達の事を思い出して下さい。

もうすぐ夜が明けます。

厚い雲の向こう側から、

朝の光が輝き始めました。

僕はあの光を目指し飛び立ちます。

さようなら、大切な君。

良い人生を。